

参考資料

## 平成29年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 土 整 備 部

## 新規事業及び重要事業総括表

### I 総 額

#### 【一般会計】

区分	平成29年度	平成28年度	伸び率
予算総額	89,007,127千円	84,197,152千円	5.7%
一般会計構成比	4.8%	4.5%	—

#### 【埼玉県用地事業特別会計】

予算総額	2,020,750千円	1,787,842千円	13.0%
------	-------------	-------------	-------

#### 【参考 公共事業の予算額】

（単位：千円）

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	伸び率
合 計	79,034,865	74,460,829	4,574,036	6.1%
直轄事業負担金除き	66,194,865	61,170,677	5,024,188	8.2%
道路事業	47,470,310	44,363,948	3,106,362	7.0%
補助	13,855,505	13,855,378	127	0.0%
単独	33,614,805	30,508,570	3,106,235	10.2%
河川事業	18,724,555	16,806,729	1,917,826	11.4%
補助	8,905,787	7,905,052	1,000,735	12.7%
単独	9,818,768	8,901,677	917,091	10.3%
計	66,194,865	61,170,677	5,024,188	8.2%
補助	22,761,292	21,760,430	1,000,862	4.6%
単独	43,433,573	39,410,247	4,023,326	10.2%
直轄事業負担金	12,840,000	13,290,152	△ 450,152	△ 3.4%
道路事業	4,500,000	5,000,000	△ 500,000	△ 10.0%
河川事業	8,340,000	8,290,152	49,848	0.6%

## Ⅱ 平成29年度主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

### 1 災害に備える強靱な県土づくり

P 1		激甚化する水害に対応する治水対策【河川砂防課】	9,604,345
P 2	新規	不老川の緊急的な浸水対策【河川砂防課】	1,000,000
P 3	新規	調節池等を活用した内水排除対策【河川砂防課】	94,000
P 4		土砂災害から人命・財産を守る対策【河川砂防課】	900,022
P 5		河川機能の保全・強化【河川砂防課】【水辺再生課】	3,006,410
P 6		東京都とのスクラム強化による道路整備【道路街路課】	1,695,000
P 7		橋りょうの計画的な点検・整備【道路政策課】【道路街路課】【道路環境課】	10,001,920

### 2 生活の質を高める持続可能な県土づくり

P 8	新規	駅周辺の安全で快適な歩行者・自転車通行空間整備【道路環境課】【道路街路課】	1,449,480
P 9		交通事故を減少させ渋滞を緩和する交差点整備【道路環境課】	1,411,800
P 10		通学児童等の安全を実現する歩道整備【道路環境課】	2,067,200

### 3 地域資源を活かして成長する県土づくり

P 11		威力倍増！幹線道路ネットワークの整備【道路街路課】	5,940,340
P 12		魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備【道路街路課】	2,220,600
P 13		SAITAMAおもてなしロードの整備【道路街路課】	410,625
P 14	新規	SAITAMAラグビーロードの整備【道路街路課】	937,190
P 15	新規	オリンピック・パラリンピックに向けた道路標識の改善【道路環境課】	106,000
P 16		川の国埼玉はつらっプロジェクトの推進【水辺再生課】	956,000

# 激甚化する水害に対応する治水対策

担当 河川砂防課 荒川中流・小山川流域担当  
内線 5 1 3 5

## 1 背景・目的

近年、記録的な豪雨に伴う河川からの溢水や市街地の内水氾濫など、甚大な浸水被害の危険が高まっている。

そこで、激甚化する水害に対応するため、計画的に河川を整備するとともに、災害防止に向けた緊急的な治水対策を推進する。

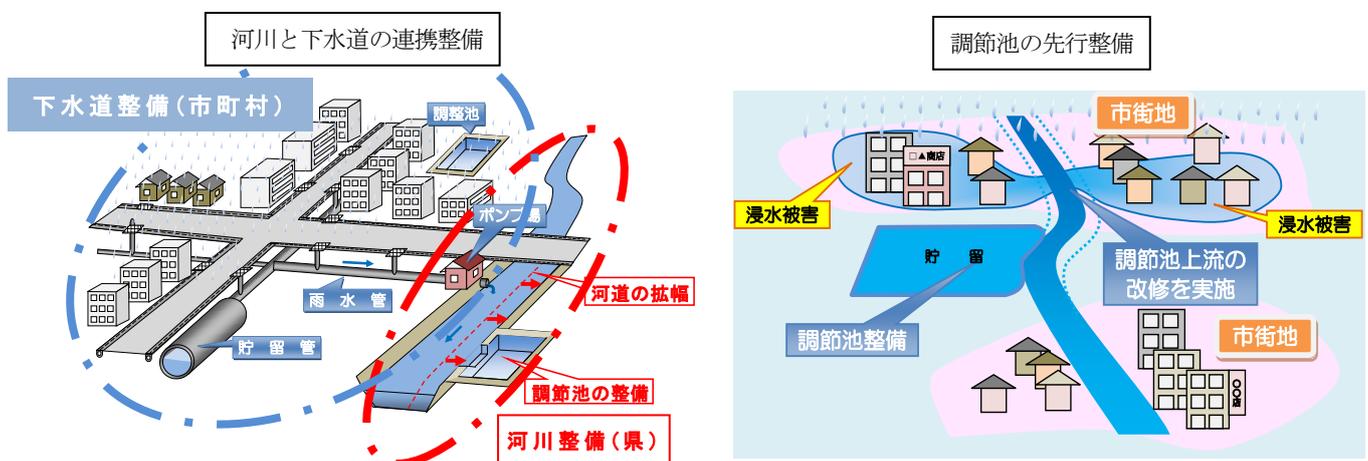
## 2 事業の概要

### (1) 計画的な河川整備

激甚化する水害に対応するには、河川と下水道の整備を組み合わせることが効果的である。そこで、県と市で協議会を設置して浸水被害の原因調査や被害軽減対策の検討、対策事業の重点実施等、河川・下水道の連携整備の取組を推進している。

このうち、県では、市町村が整備する公共下水道（雨水）の受け皿となる河川の整備を重点的に進める。

また、河川の上流域で発生している浸水被害を軽減するため、中・上流域の調節池を先行して整備するとともに、その上流の河川改修をスピードアップする。



### (2) 緊急的な治水対策

- ・不老川の緊急的な浸水対策（P 2 参照）
- ・調節池等を活用した内水排除対策（P 3 参照）

3 予算額 9, 604, 345千円  
社会資本整備総合交付金（河川）事業費など6事業

# 不老川の緊急的な浸水対策

担当 河川砂防課 新河岸川・荒川下流域担当  
 内線 5 1 4 3

## 1 背景・目的

平成28年8月の台風9号では、狭山市入曽において観測史上最大となる3時間で196mmの降雨を記録するなど、県西部地域を中心に記録的な豪雨となった。

この豪雨で狭山市、入間市を流れる不老川の中流部・上流部では、河川の氾濫により甚大な浸水被害が発生した。

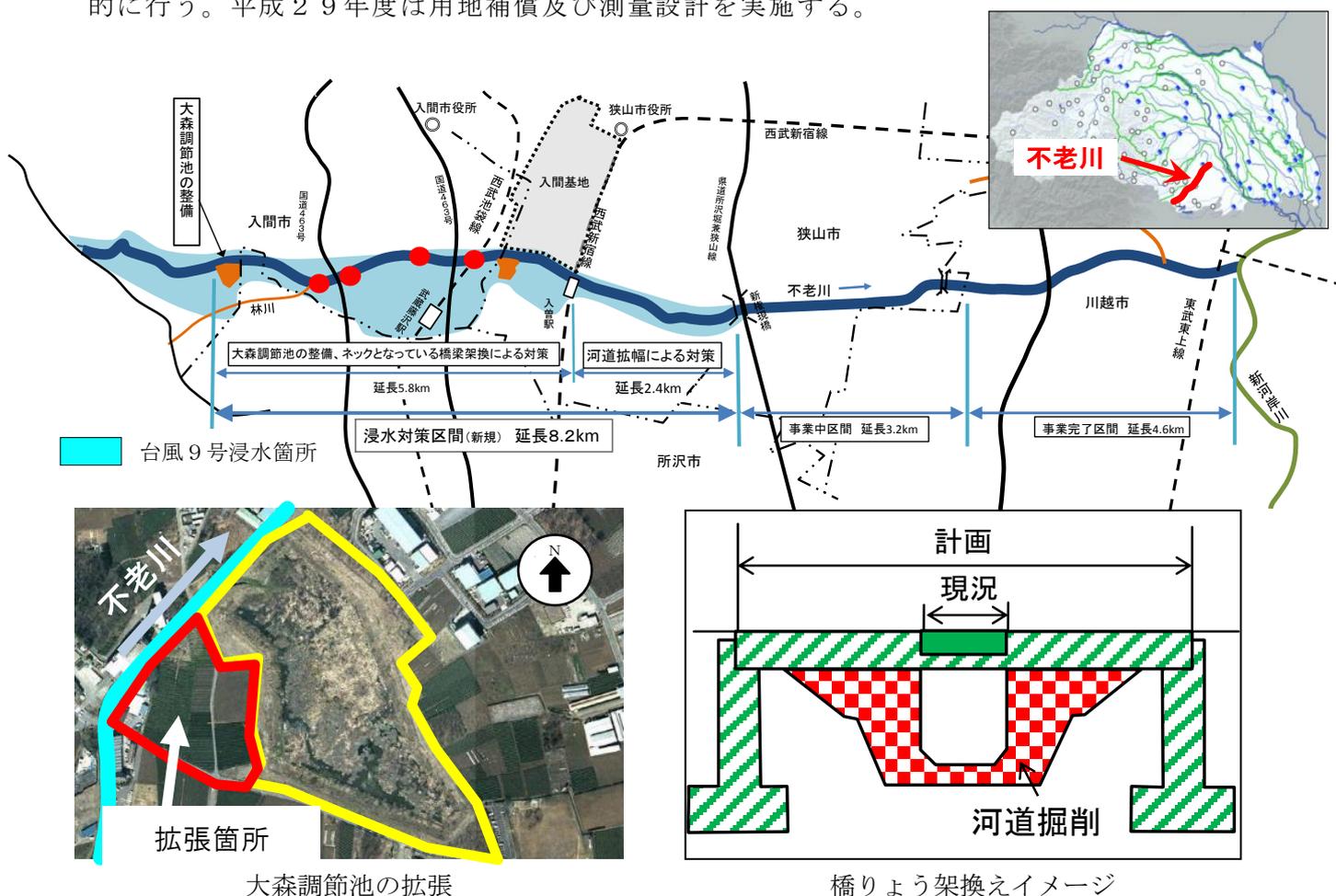
そこで、不老川の河川整備を集中的に実施し、床上浸水被害の解消を目指す。



不老川の洪水状況（入間市）

## 2 事業の概要

不老川の中・上流域において、大森調節池の整備、橋りょうの架換え、河道拡幅等を集中的に行う。平成29年度は用地補償及び測量設計を実施する。



3 予算額 1,000,000千円(再掲)  
 床上浸水対策事業費

## 調節池等を活用した内水排除対策

担当 河川砂防課 計画調査担当  
内線 5 1 6 2

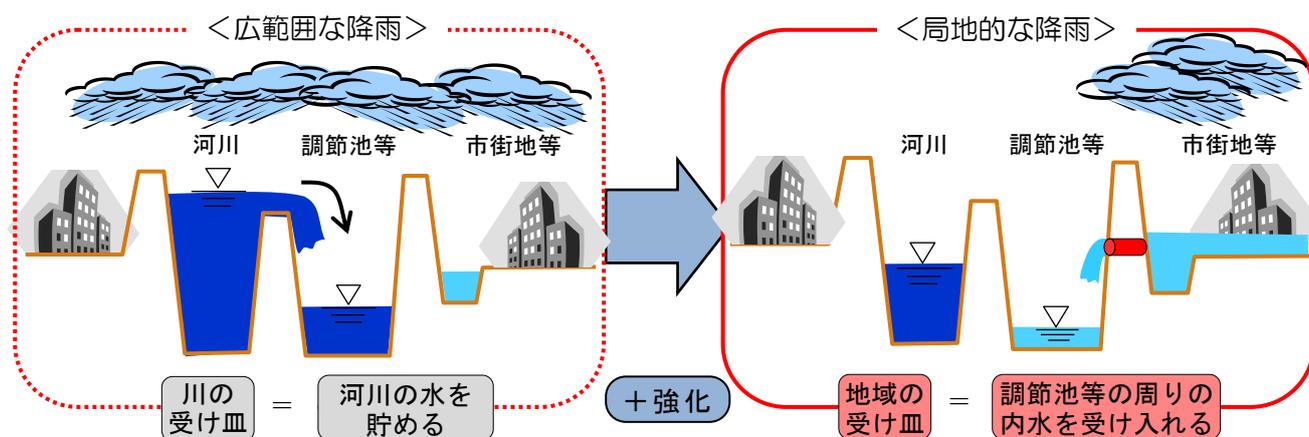
### 1 背景・目的

ゲリラ豪雨のような局地的な大雨が降ると、下水道が未整備の場合、市街地等に溜まった雨水が河川に排水されず、内水浸水被害が生じる。

このような場合に、近くに調節池等がある地域では、調節池等をフル活用して、内水を調節池等に一時貯留させ河川へ排水することで、浸水被害を軽減させる。

### 2 事業の概要

- ・下水道が未整備のため市街地に溜まった内水を調節池等に直接排水する施設を、市が整備する。
- ・調節池等に流入した内水を速やかに河川に排水する導水路の整備などを、県が実施する。
- ・蛇島調節池（新河岸川・砂川堀雨水幹線）外4箇所事業を実施する。



【施工イメージ図】

平成29年度の取組

#### 県の取組

- ・既存施設を活用した内水被害の軽減対策の検討（調査委託）
- ・調節池等の改良（導水路の整備等）



連携して実施

#### 市の取組

- ・内水を処理する排水口の整備

※内水：一時的かつ大量の降雨により、河川に排水できずに市街地等に溜まった雨水

### 3 予算額 94,000千円（再掲）

調節池等活用内水対策費

# 土砂災害から人命・財産を守る対策

担当 河川砂防課 荒川上流域・砂防担当  
内線 5 1 4 1

## 1 背景・目的

近年、局地的な大雨の増加や台風の大型化により、土砂災害の発生リスクが高まっている。平成26年8月には広島県において土石流、がけ崩れ等の土砂災害が発生し、死者75名という甚大な被害が発生した。また、平成28年8月の台風9号では、関東地方においても記録的な大雨の影響により各地で土砂災害が発生し、埼玉県においても土砂流出や家屋被害が生じている。



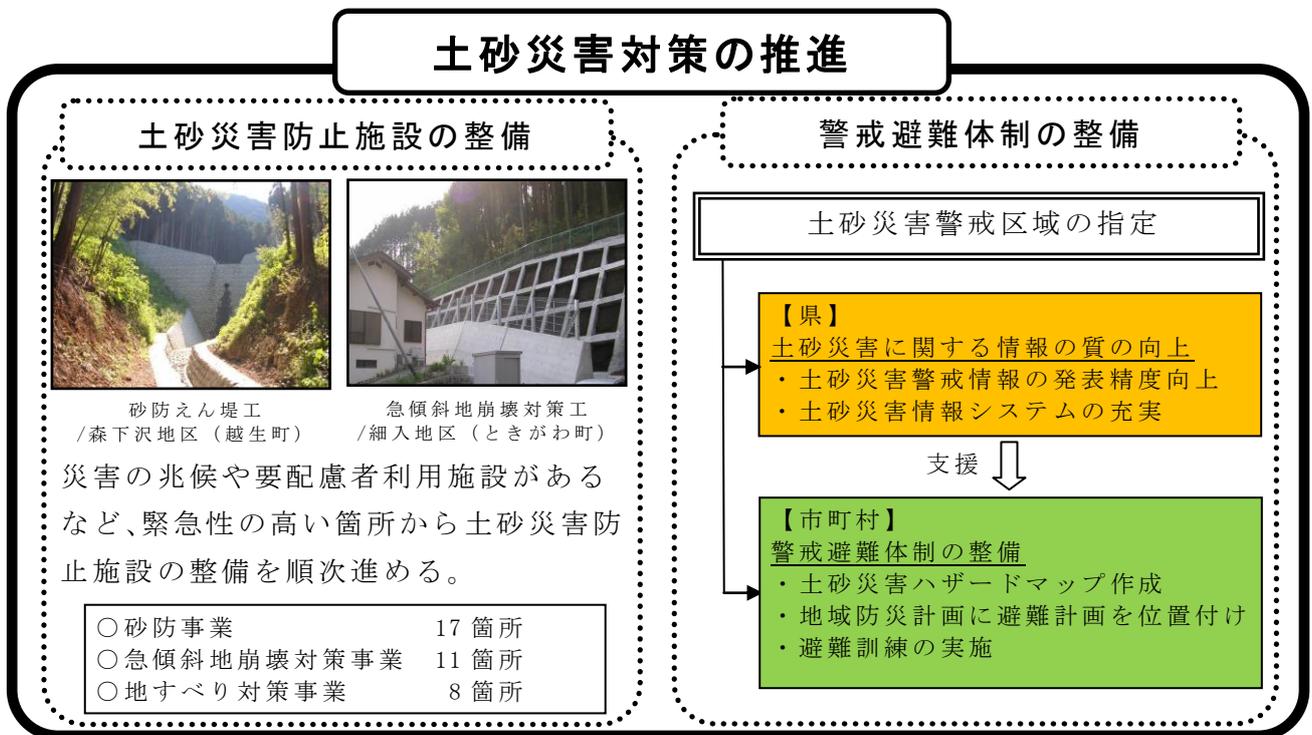
H26.8 広島市で発生した土砂災害



H28.8 入間市中神で発生した土砂崩れ

## 2 事業の概要

土砂災害から県民の生命と財産を守るため、土砂災害防止施設を整備するとともに、市町村と連携して警戒避難体制の充実を図る。



## 3 予算額

900,022千円

社会資本整備総合交付金（砂防）事業費など4事業

# 河川機能の保全・強化

担当 河川砂防課 河川設備担当  
内線 5 1 2 8  
担当 水辺再生課 ダム管理担当  
内線 5 1 4 2

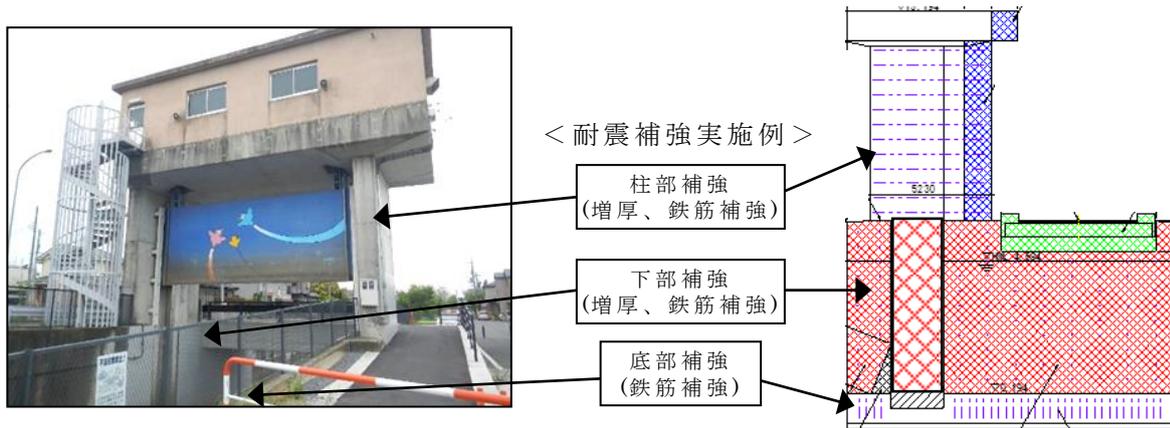
## 1 背景・目的

河川管理施設が正常に機能するよう、護岸修繕、河道やダムに堆積した土砂の撤去などを実施するとともに、水門の耐震補強、堤防の機能強化を図る。

## 2 事業の概要

### (1) 水門の耐震補強、堤防の機能強化

首都直下地震が高い確率で発生すると予測されるため、水門の耐震対策を推進する。平成24年度から対策を進めており、倉松川水門など13箇所の水門・樋門の耐震補強工事を平成29年度に完了させる。また、市街地内を流れる河川で水防上特に重要な箇所（新芝川、九十川）について、堤防機能を強化する。



### (2) 治水機能の復旧

損傷が拡大し崩壊の恐れのある護岸の修繕や、流れを阻害している堆積土砂の撤去などを行い、治水機能の復旧を図る。

### (3) ダム堆積土砂を活用した河床低下対策

有間ダムでは堆積土砂による治水容量の低下が課題となっている一方、入間川では河床低下による護岸崩壊、橋脚の洗掘などが懸念されている。

そこで、有間ダムの堆積土砂を入間川の河床埋戻しに活用することで、入間川の河床を安定させ、河川管理施設等の保全を図る。

3 予算額 3,006,410千円  
河川施設震災対策費など5事業

# 東京都とのスクラム強化による道路整備

担当 道路街路課 県道・街路担当  
内線 5074

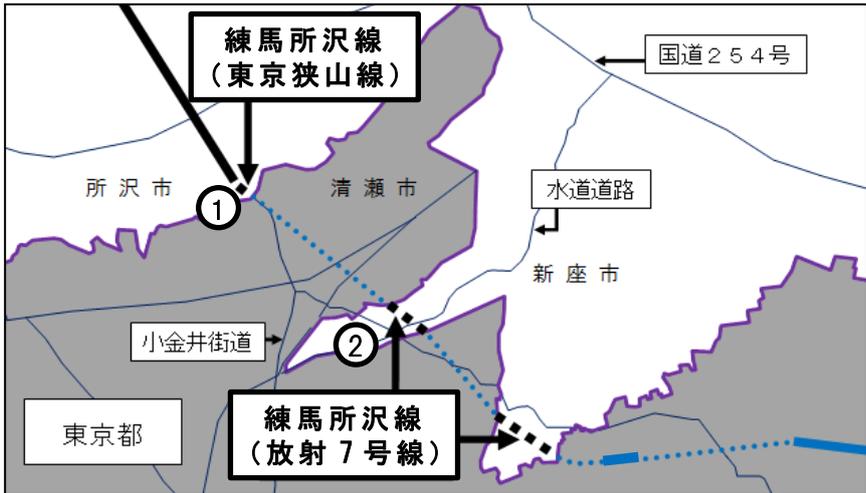
## 1 背景・目的

県西部地域における都県境の道路網が脆弱であることから、この地域の発展や災害発生時の円滑な援助・救援活動が難しい状況になっている。このため、埼玉県と東京都を結ぶ幹線道路ネットワークの強化を目的とし、東京都と連携して都県境の未接続道路を整備する。

## 2 事業の概要

都県境が未接続道路となっている県道練馬所沢線（東京狭山線、放射7号線）、都市計画道路飯能所沢線の2路線の整備を推進する。

### ○ 事業箇所の例（県道練馬所沢線：所沢市、新座市）

<h3>位置図</h3>	
<p>凡例（練馬所沢線）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>— : 埼玉県整備済</li><li>- - - : 埼玉県施行</li><li>— : 東京都整備済</li><li>..... : 東京都施行</li></ul>	
<h3>① 練馬所沢線の整備状況（所沢市下安松）</h3>	<h3>② 練馬所沢線の現状（新座市新堀）</h3>
	

3 予算額 1,695,000千円  
社会資本整備総合交付金（改築）事業費など4事業

# 橋りょうの計画的な点検・整備

担当 道路政策課 政策担当  
内線 5018  
担当 道路街路課 橋りょう担当  
内線 5068  
担当 道路環境課 防災担当  
内線 5107

## 1 背景・目的

埼玉県が管理する橋りょうの多くが高度経済成長期に建設されており、大規模補修や更新の時期を迎え、補修・更新費用の急速な増加が見込まれる。

道路機能の安全性と信頼性を持続的に確保するため、橋りょうの計画的な点検・整備を行う。

## 2 事業の概要

### (1) 保全計画の検証・更新

橋りょうの修繕や点検結果を踏まえ、保全計画の検証・更新を行う。

### (2) 着実な点検の実施

橋りょうの劣化の進行状況や補修の必要性を把握するため、橋りょうの定期点検を行う。

### (3) 維持補修及び架換えの実施

橋りょうの安全性を確保するため、計画的に橋りょうの維持補修や架換えを行う。

維持補修：県道川越上尾線（開平橋／上尾市）など230箇所

架換え：県道伊勢崎深谷線（上武大橋／深谷市）など20箇所

## ○ 事業箇所の例



橋桁劣化事例



橋りょう架換え工事  
県道伊勢崎深谷線（上武大橋）

## 3 予算額 10,001,920千円

社会資本整備総合交付金（橋りょう整備）事業費など10事業

## 駅周辺の安全で快適な歩行者・自転車通行空間整備

担当	道路環境課	交通安全施設整備担当
内線	5097	
担当	道路環境課	交通事故緊急対策担当
内線	5098	
担当	道路街路課	街路担当
内線	5056	

### 1 背景・目的

多くの県民が利用する駅周辺の道路には、歩道が狭いなど整備が十分でないところがあり、平成28年の交通事故死者の約6割が、歩行中や自転車乗車中の事故によるものである。

そこで、歩行者や自転車利用者が駅周辺で安心して通行できる道路環境を整備する。

### 2 事業の概要

駅周辺の道路環境整備が急務であるが、駅周辺全ての県道を整備するには膨大な時間とコストが必要である。

そこで、市町村と連携し役割を分担して歩道拡幅、既設歩道の歩きやすさ向上、自転車通行空間整備を重点的に推進する。

一例として、市道の交通規制によって歩行者や自転車利用者を自動車交通量の多い県道から市道へ誘導し、県道の歩道拡幅区間を当面短縮することで、短期間で駅周辺の歩行者等の通行環境を改善する。

平成29年度は、10駅周辺で市町村と連携して道路環境改善を行う。

#### ○ 市町村連携イメージ



3 予算額 1,449,480千円  
自転車歩行者道整備費など3事業

# 交通事故を減少させ渋滞を緩和する交差点整備

担当 道路環境課 交通安全施設整備担当  
内線 5097

## 1 背景・目的

埼玉県内の交通事故の約6割が交差点及びその付近で発生しており、右折帯のない交差点では交通渋滞が発生している。

交差点整備を実施した箇所では、交通事故件数が約3割減少、最大渋滞長が約6割減少という効果が得られている。

引き続き交通事故の減少や交通渋滞の緩和を図るため、交差点整備を進める。

## 2 事業の概要

交通事故が発生した交差点や最大渋滞長100m以上、最大通過時間2分以上の交差点などから整備箇所を選定し、右折帯や右折避譲帯などの交差点整備を推進する。

平成29年度は、38箇所で行う。

### ○ 整備例（県道越谷川口線：川口市＜花山下東交差点＞）



整備前



整備後

3 予算額 1,411,800千円  
交差点整備費など2事業

# 通学児童等の安全を実現する歩道整備

担当 道路環境課 交通安全施設整備担当  
内線 5097

## 1 背景・目的

埼玉県における平成28年の交通事故死者は151人（全国ワースト7位）を数え、依然として高い水準にある。

また、死者のうち歩行者の占める割合が最も高いことから、歩行者に対する交通安全対策は喫緊の課題となっている。

そこで、歩行者の安全確保に効果的な、歩行者と自動車を分離する歩道整備を進める。

## 2 事業の概要

通学児童生徒の安全のため、通学路の歩道整備を優先的に進めるとともに、交差点などでの信号待ちの際、安全に待機できる場所を確保する「たまり空間」の整備を行う。

平成29年度は、79箇所の歩道を整備する。

### ○ 整備例（歩道整備、県道馬引沢飯能線：飯能市）



整備前



整備後

3 予算額 2,067,200千円  
自転車歩行者道整備費など2事業

# 威力倍増！幹線道路ネットワークの整備

担当 道路街路課 国道・県道・橋りょう・街路担当  
内線 5074

## 1 背景・目的

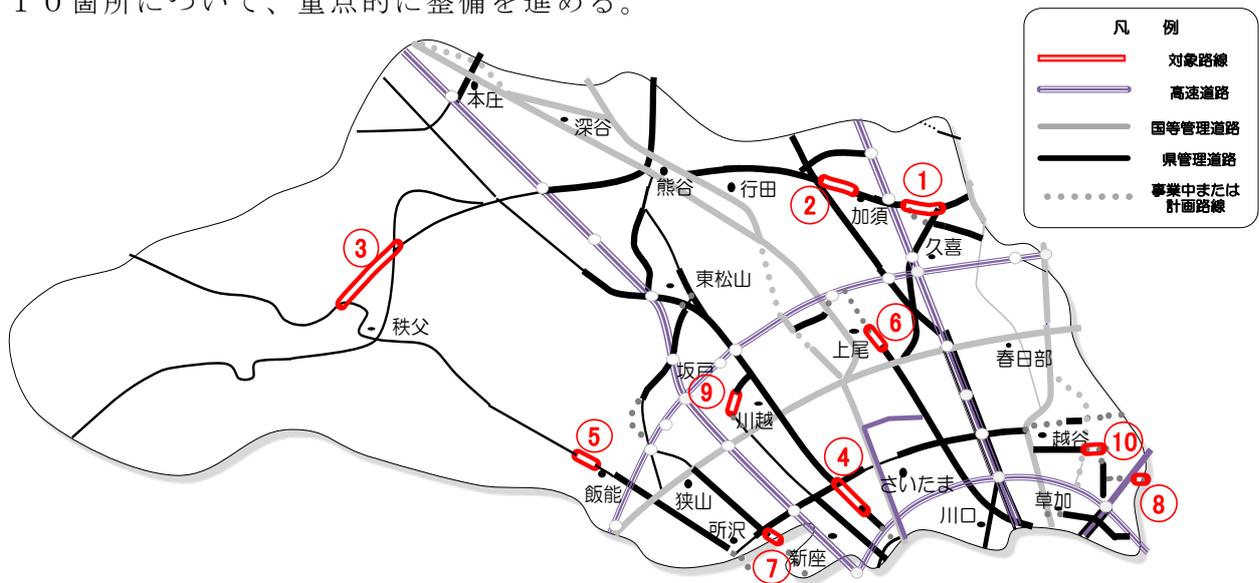
幹線道路はネットワークの充実により、円滑な交通が確保され、産業支援や地域振興に寄与する役割を果たす。

また、災害時には、一つの道路が被災しても他の道路で代替ルートを確認することが可能となる。

そのため、早期に幹線道路ネットワークを完成させることが必要である。

## 2 事業の概要

幹線道路の未接続箇所や暫定2車線で整備済の区間の4車線化など、9路線10箇所について、重点的に整備を進める。



No	路線	市町村	工区
①	国道125号	久喜市・加須市	栗橋大利根BP
②	国道125号	加須市・羽生市	加須羽生BP
③	国道140号	皆野町・秩父市	皆野秩父BP
④	国道254号	和光市ほか	和光富士見BP
⑤	国道299号	飯能市・日高市	飯能日高BP
⑥	県道さいたま菖蒲線	上尾市	原市平塚
⑦	県道練馬所沢線	所沢市	下安松
⑧	県道越谷流山線	三郷市	(仮称)三郷流山橋
⑨	(都)川越北環状線	川越市	小室
⑩	(都)越谷吉川線	越谷市・吉川市	吉川

## 3 予算額

5,940,340千円（一部再掲）

社会資本整備総合交付金（改築）事業費など5事業

# 魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備

担当 道路街路課 国道・県道・街路担当  
内線 5074

## 1 背景・目的

圏央道の整備の進展により高速道路網がさらに充実した埼玉県は、都内・東北・日本海側など全方位に産業経済活動を展開できることができ、交通の要衝として埼玉県の魅力がさらに高まっている。

この高速道路ネットワークを最大限に活かすため、アクセス道路の整備を進め、企業進出をさらに促進させる。

## 2 事業の概要

県内の企業立地ポテンシャルを高めるため、埼玉県の骨格を形成する主要な幹線道路である5路線5箇所について、開通目標年度を公表し、インターチェンジへのアクセス機能強化を図る道路整備を推進する。

### ○施策のイメージ

▶目的地までの時間が見える！



▶開通までの時間が見える！



### ○事業箇所

No	路線	市町村	工区	開通目標年度
①	(都)川越北環状線 [再掲]	川越市	小室	平成30年度
②	県道飯能寄居線	日高市	新堀・北平沢	平成30年度
③	国道125号 [再掲]	久喜市・加須市	栗橋大利根BP	平成31年度
④	国道407号	鶴ヶ島市・日高市	鶴ヶ島日高BP	平成32年度(部分供用)
⑤	県道東松山鴻巣線	吉見町	久保田	平成33年度

## 3 予算額 2,220,600千円(一部再掲)

社会資本整備総合交付金(改築)事業費など4事業

# SAITAMAおもてなしロードの整備

担当 道路街路課 街路・特殊街路担当  
内線 5056

## 1 背景・目的

「ラグビーワールドカップ 2019」や「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の開催により、外国人を含めた多くの観光客が埼玉県を訪れることが見込まれる。

これらを契機に、県内観光地や地域住民の取組などと連携して、埼玉県を訪れる観光客が安心して周遊できる「おもてなし」の道路空間づくりを行う。

## 2 事業の概要

川越市の都市計画道路中央通り線と秩父市の都市計画道路中央通線の2路線について、電線の地中化や歩道を拡幅することで、歩行者が安心して周遊できる道路を整備する。

道路整備にあわせて、地元市や地域住民は沿道の良好な景観形成に取り組んでいく。

## ○ 事業箇所

①川越市中央通り線	平成 29 年度実施内容：用地買収、歩道拡幅工事(電線地中化)
現 状 幅員 11.0m	整備イメージ 幅員 20.0m
	

②秩父市中央通線	平成 29 年度実施内容：用地買収、歩道拡幅工事(電線地中化)
現 状 幅員 10.0m	整備イメージ 幅員 16.0m
	

## 3 予算額

410,625千円

社会資本整備総合交付金(街路)事業費など2事業

# SAITAMAラグビーロードの整備

担当 道路街路課 県道・街路担当  
内線 5074

## 1 背景・目的

「ラグビーワールドカップ2019」では、県営熊谷ラグビー場が試合会場となるため、熊谷周辺には外国人を含めた多くの観客の来訪が見込まれる。

そこで、円滑な観客輸送を実現するため、地元市と連携しバス輸送ルート等の道路整備を進める。

## 2 事業の概要

輸送ルートとなる県道熊谷館林線、県道熊谷羽生線及び県道青山熊谷線、熊谷駅周辺の混雑緩和に寄与する県道太田熊谷線について、バイパス整備や現道拡幅を行い、観客及び選手・大会関係者の安全、迅速、円滑な移動を確保する。



3 予算額 937,190千円(一部再掲)  
社会資本整備総合交付金(改築)事業費など3事業

# オリンピック・パラリンピックに向けた 道路標識の改善

担当 道路環境課 交通事故緊急対策担当  
内線 5098

## 1 背景・目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて増加が予想される外国人旅行者が安心して円滑に移動できるよう、道路環境の整備が求められている。

そこで、道路案内標識等を外国人旅行者にとってわかりやすいものとするため、表記などの改善を推進する。

## 2 事業の概要

オリンピック・パラリンピック競技会場周辺やこれにアクセスする路線において、英語表記改善、ピクトグラムや反転文字を活用した道路案内標識等の改善を行う。

平成29年度は、道路案内標識の交換14基及びシール貼り120基を実施する。

### ○整備イメージ

#### ①道路案内標識の交換

(英語表記改善、ピクトグラム、反転文字の活用)



ピクトグラム+反転文字

#### ②シール貼り

(英語表記改善)



英語表記改善

3 予算額 106,000千円  
道路安全施設費

# 川の国埼玉 はつらっプロジェクトの推進

担当 水辺再生課 水辺再生事業担当  
内線 5113

## 1 背景・目的

埼玉県は、平成20年度から「水辺再生100プラン」、平成24年度から「川のまるごと再生プロジェクト」を推進してきた。この結果、地域で川を守り利活用する動きが広がり、地域の資産として育ってきている。

こうした広がりを一層推進するため、市町村の地域振興の取組と連携し、県内各地で様々な川の魅力を実感できるように水辺空間を整備・拡充し「川の国埼玉」の実現を目指す。

## 2 事業の概要

市町村提案から選定した河川21箇所（農林部では農業用水7箇所）において、市町村の地方創生に係る総合戦略や観光振興等の取組と連携した水辺づくりに取り組む。

平成29年度は、市町村が運営する協議会（地域住民や関係団体等）で利活用方策や整備内容など提案内容を具体化し、県は測量・設計及び親水施設の整備を行う。

### 【取組内容】

**市町村**  
— 地域振興 —

- ・ 県へ事業提案
- ・ 協議会を運営して提案を具体化
- ・ 振興施設の整備（駐車場、トイレ、公園等）
- ・ イベント企画等で利活用促進
- ・ 住民や関係団体等と維持管理

**住民,民間団体**  
— 利活用や維持管理 —

- ・ 地域振興イベント等実施
- ・ ウォーキングや散策等で利用
- ・ 川の国応援団として清掃活動

**県**  
— 水辺空間の整備 —

- ・ 県のノウハウを生かして地域振興に資する水辺づくり
- ・ 利活用や維持管理を応援

河川面積割合日本一(3.9%)を肌で実感できるようにする





### 【事業箇所】

河川名		市町村名	河川名		市町村名
1	綾瀬川	さいたま市	12	槻川	小川町
2	綾瀬川	川口市	13	横瀬川	横瀬町
3	伝右川	川口市	14	神流川	神川町
4	新河岸川・柳瀬川	志木市	15	荒川	寄居町
5	柳瀬川	新座市	16	小山川	深谷市・本庄市
6	元荒川	鴻巣市	17	忍川	行田市
7	新河岸川	川越市	18	伝右川	草加市
8	びん沼川	富士見市	19	元荒川	越谷市
9	入間川	飯能市	20	新方川	越谷市
10	高麗川	日高市	21	大落古利根川	杉戸町
11	越辺川	越生町			

## 3 予算額 956,000千円

川の国埼玉 はつらっプロジェクト推進費